

分科会のまとめ 中学校 理科

授業者	海田中学校 1年 川勝 広美
指導助言者	広島県立教育センター 指導主事 丸川 晋一 様
司会者	海田中学校 小西 宏明
記録者	海田中学校 中田 佳史

1 協議内容 (○成果・●課題)

① 児童生徒の主体的に学ぼうとする姿が見られたか

○演示実験を見せたり、実験道具を見せて実験結果を予想させたりして、生徒の興味付けを行った。また、今まで見たことはないと思われる反応を見せることで「あれは何だろう」と疑問が持てるよう工夫したことで、課題を主体的にとらえようとしている生徒もいた。

●考察が、実験結果と同じ書き方になっている班があった。生徒が主体的に意見や考えを表現できるように、結果から考察にいたる流れを教示しておくとうよかった。

② 児童生徒が自分の考えを深めるための指導の工夫がされていたか

○生徒が演示実験のときから発生した気体について予想を立てており、その予想を確認する流れが思考を深める手立ての1つになっていた。

●仮説を立てられず考察を十分に書くことが出来ない生徒もいたので、そうした生徒への支援や手立てを講じる必要がある。

③ 児童生徒が安心して学習できる環境づくりや人間関係づくりはどうであったか

○授業が始まる前から生徒に既習事項等を確認させるなどして、授業の雰囲気作りをしていたことで、生徒が授業に集中できる工夫がされていた。また、実験道具の配置等教室の環境づくりができていた。



[授業の様子]



[分科会の様子]

2 指導・助言

- 導入部分で、カラフルな入浴剤を見せることで生徒の目を引き、いろいろな意見が出てきたことで、スムーズに授業に入ることができた。生徒が意欲的に実験を行い、実験結果を基にグループ協議ができていた。
- めあてを指導者が提示したが、生徒に言わせて生徒の言葉でめあてを書くといい。
- 考察をまとめる段階で、文章を書くことが苦手な生徒もいることを考慮して、主語を入れる等文章の書き方を示したうえで考察を書かせるとうよかった。
- 理科教員に願うこととして、知識がつながる授業を考えてほしい。探求を通してどのような力がついていくかが大切である。